

執筆者紹介

(①現職 ②最終学歴・取得単位 ③主著)

■監修者

大友 信勝 (おおとも のぶかつ)

終章

- ①聖隷クリストファー大学大学院 (教授)
- ②日本福祉大学卒業 博士 (社会福祉学)
- ③『公的扶助の展開—公的扶助研究運動と生活保護行政の歩み』旬報社、2000年

■編者

権 順浩 (くおん すんほ)

巻頭言、10章

- ①神戸親和女子大学 (講師)
- ②龍谷大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了 博士 (社会福祉学)
- ③「在宅家族介護者の所得保障に関する研究」(博士論文)、2013年度

船本 淑恵 (ふなもと よしえ)

巻頭言、8章

- ①大阪大谷大学 (准教授)
- ②龍谷大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程単位取得満期退学 修士 (社会福祉学)
- ③「障害者グループホーム入居者の地域生活支援に関する研究—世話人の地域における業務内容に焦点を当てて」『大阪大谷大学紀要』49、2015年

鵜沼 憲晴 (うぬま のりはる)

巻頭言、1章

- ①皇學館大学 (教授)
- ②龍谷大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程単位取得満期退学 博士 (社会福祉学)
- ③『社会福祉事業の生成・変容・展望』法律文化社、2015年

■執筆者 (五十音順)

青木 聖久 (あおき きよひさ)

6章

- ①日本福祉大学 (教授)
- ②龍谷大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了 博士 (社会福祉学)
- ③『精神障害者の生活支援—障害年金に着眼した協働的支援』法律文化社、2013年

磯野 博 (いその ひろし)

7章

- ①静岡福祉医療専門学校 (常勤教員)

- ②龍谷大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程単位取得満期退学 修士（社会学）
 ③『無年金障害者問題の今日的特徴と障害年金の課題』『福祉社会開発研究』11、日本福祉大学大学院、2016年

大友 芳恵（おおとも よしえ）

13章

- ①北海道医療大学（教授）
 ②北海道大学大学院教育学研究科教育学専攻博士課程単位取得満期退学 博士（教育学）
 ③『低所得高齢者の生活と尊厳軽視の実態—死にゆきかたを選べない人びと』法律文化社、2013年

門 道子（かど みちこ）

9章

- ①神戸親和女子大学（准教授）
 ②龍谷大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程単位取得満期退学 修士（社会福祉学）
 ③「ソーシャルワークの近接領域としての就学前教育・保育の場における保育者の役割—幼稚園・保育所一元化の先がけの役割をもつ認可外幼児教育施設の実践から」『龍谷大学社会学部紀要』第39号、2011年

竹之下 典祥（たけのした のりよし）

5章

- ①盛岡大学（准教授）
 ②中部学院大学大学院人間福祉学専攻博士後期課程中退 修士（教育学、社会福祉学）
 ③「第1部第2章 住民主体に求められる要件—草の根地域福祉モデルを岩手県旧沢内村から」井岡勉・賀戸一郎監修、加藤博史・岡野英一・竹之下典祥・竹川俊夫編『地域福祉のオルタナティブ—<いのちの尊厳>と<草の根民主主義>からの再構築』法律文化社、2016年

田中 聡子（たなか さとこ）

4章

- ①県立広島大学（教授）
 ②龍谷大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了 博士（社会福祉学）
 ③「第6章 子どもの貧困に抗うための実践」埋橋孝文・矢野裕俊編『子どもの貧困／不利／困難を考える I』ミネルヴァ書房、2015年

戸田 典樹（とだ のりき）

2章

- ①神戸親和女子大学（教授）
 ②龍谷大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了 博士（社会福祉学）
 ②『福島原発事故漂流する自主避難者たち—実態調査からみた課題と社会的支援のあり方』明石書店、2016年

- 武藤 敦士 (むとう あつし) 3章
- ①高田短期大学 (助教)
- ②立命館大学大学院社会学研究科応用社会学専攻博士課程後期課程在学中 修士 (社会福祉学)
- ③「母子世帯の貧困の性格とその対応に関する課題—母子生活支援施設入所世帯の分析から」『日本の科学者』第51巻第2号 (通巻577号)、2016年
- 森田 靖子 (もりた やすこ) 11章
- ①長野大学 (助教)
- ②龍谷大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程単位取得満期退学 修士 (社会学)
- ③「第7章4節 釜山ドルボム社会サービスにおける介護人材 (ドルボミ) 育成事業—ともに支えあい、ともに成長する協働の人材育成事業を通じた貧困の克服に学ぶ」大友信勝編著『韓国における新たな自立支援戦略』高蒼出版、2013年
- 湯川 順子 (ゆかわ じゅんこ) 12章
- ①県立広島大学 (助教)
- ②龍谷大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程単位取得満期退学 修士 (社会福祉学)
- ③「高齢期における社会的孤立への地域福祉活動の可能性と限界」『龍谷大学大学院研究紀要 社会学・社会福祉学』18、2011年
- 李 栖瑛 (り すよん) 14章
- ①ソウルサイバー大学 (准教授)
- ②東洋大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了 博士 (社会福祉学)
- ③「老人療養病院の老人虐待実態分析」『韓国産学技術学科紙』2016年